

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	本町出張所改築整備事業費	所管課 (旧所管課)	消防総務課
まちづくりテーマ			
1安全で安心な暮らしを築く			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
災害時における、市民の安全・安心を確保するため、地域防災の拠点として老朽化した現庁舎を建替えるもの。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
環境に配慮し、法定耐用年数が経過した後も庁舎を使用可能とする長寿命化を目指した庁舎
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 消防や救急の活動が充実し、安心できると感じますか？
②

3 指標の推移

		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	3.65	3.67	3.75
	②				
市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容					
藤沢地区郷土づくり推進会議への報告等					
EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等					
社会情勢等					
他市等の事例(本市の独自性があればその内容)					
現庁舎の立地が出動面で非常に優れているため、同一敷地内での建替えを実施するもの。					
把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応					
藤沢地区郷土づくり推進会議等で、指摘された内容があれば柔軟に対応する。					

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由		
まちづくりコンセプト	☒ サステナブル藤沢	☐ インクルーシブ藤沢
		☐ スマート藤沢
先進環境技術を活用し、庁舎のZEB化を目標とする持続可能な省エネルギー庁舎を目指した設計を行い、管轄地域の災害対応の拠点となる庁舎建設をしていることから。		
貢献する主なSDGsのゴール		
①	住み続けられるまちづくりを	
②	気候変動に具体的な対策を	
③	パートナーシップで目標を達成しよう	
関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)		
有無	有	
第4次藤沢市公共施設再整備プラン(短期プラン)		

令和7年度 総合指針重点事業評価表

1 基本情報

重点事業名	大規模震災等対策強化事業費	所管課 (旧所管課)	警防課
まちづくりテーマ			
1安全で安心な暮らしを築く			

2 施策概要・指標

事業目的及び必要性
本事業は、災害発生時の被害軽減及び市民が安全に、安心して暮らせるまちづくりを目的としている。大規模災害は被害が広範囲に及ぶため、映像伝送システムの拡充や耐震性防火水槽の計画的な設置、各種災害対応資機材の整備が求められる。
2030年又は事業終了時の望ましい姿
新たな資機材等を整備することで、災害対応力の向上が図られ、市民の安全安心へと繋がる。また、耐震性防火水槽の設置をさらに推進することで、大規模災害時(断水時)にも消防活動が行えるよう取組んでいく。時代とともに災害形態は変化していくため、状況に応じた資機材の導入を検討するなど柔軟な対応が必要である。現状の課題を克服し、大規模災害に対応できる先進消防を目指すため、事業を継続していく。
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」
① 消防や救急の活動が充実し、安心できると感じますか？
②

3 指標の推移

	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
意識調査結果	①	点	3.65	3.67
	②			3.75

市民意識調査以外の市民ニーズの把握方法及びその内容

EBPMなど政策の立案や効果測定に必要なデータ等

社会情勢等
令和6年能登半島地震及び令和7年の大船渡市林野火災を受け、大規模災害発生直後における早期の情報収集と消火活動体制の確立、必要資機材の整備等の重要性を再確認した。近年頻発している大雨による土砂災害についても被害が広範囲に及ぶため、早期に被害状況を把握する必要がある。また、テロ等の特殊災害に対応するための資機材整備も、同時に進めていくことが重要である。

他市等の事例(本市の独自性があればその内容)

近隣の消防本部(横浜市消防局、鎌倉市消防本部、大和市消防本部、海老名市消防本部、綾瀬市消防本部)でも情報収集用にドローンを導入している。テロ等特殊災害対応資機材については、横浜市消防局をはじめ、近隣の消防本部でも整備を行っている。

把握した市民ニーズ、議会からの意見等への対応

大規模災害に対応するため、ドローンをはじめとする映像伝送システムを導入し通常災害時にも活用している。今後も映像伝送システムの拡充を実施する。耐震性防火水槽については設置工事を実施するとともに、次の候補地の事前地質調査を行い計画的な設置を進めていく。テロ等の特殊災害対応資機材についても、引き続き整備を進めていく。
--

4 施策の評価

まちづくりコンセプトとの整合性とその理由
まちづくりコンセプト ☒ サステナブル藤沢 ☐ インクルーシブ藤沢 ☐ スマート藤沢
災害対策の充実・強化を図り、市民の安全で安心な暮らしを築くことは、将来にわたり市民ニーズに応えることになる。多くの人に住んでみたい、住み続けたいと思ってもらえることが、持続可能なまちへと繋がるため。

貢献する主なSDGsのゴール

①	住み続けられるまちづくりを
②	気候変動に具体的な対策を
③	パートナーシップで目標を達成しよう

関連する計画の有無(ある場合は計画の名称)

有無	無	
----	---	--